



平成 20 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 リオン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井上清恆
 (コード番号 6 8 2 3 東証第 2 部)
 問合せ先 取締役管理統括部長
 山根 昇
 (TEL. 042-359-7099)

特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 20 年 7 月 31 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますとともに、特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社の監査を担当する新日本有限責任監査法人より、当社が所有する投資有価証券の一部について、資産性の低下を理由に評価損を計上すべきとの見解が示されたため、平成 21 年 3 月期第 2 四半期において投資有価証券評価損約 160 百万円を特別損失に計上する見込であります。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

① 平成 21 年 3 月期第 2 四半期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	9,000	270	220	50	4.79
今 回 修 正 予 想 (B)	8,800	150	100	△220	△21.04
増 減 額 (B-A)	△200	△120	△120	△270	—
増 減 率 (%)	△2.2	△44.4	△54.5	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	9,320	674	632	349	34.43

② 平成 21 年 3 月期通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前 回 発 表 予 想 (A)	18,500	770	660	250	23.93
今 回 修 正 予 想 (B)	18,200	400	300	△80	△7.65
増 減 額 (B-A)	△300	△370	△360	△330	—
増 減 率 (%)	△1.6	△48.1	△54.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	19,190	1,320	1,025	435	42.59

(2) 平成 21 年 3 月期個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

① 平成 21 年 3 月期第 2 四半期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益(円)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,500	190	170	40	3.83
今 回 修 正 予 想 (B)	7,300	40	10	△230	△21.99
増 減 額 (B－A)	△200	△150	△160	△270	—
増 減 率 (%)	△2.7	△78.9	△94.1	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	7,827	513	504	302	29.88

② 平成 21 年 3 月期通期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益(円)
前 回 発 表 予 想 (A)	15,370	600	520	210	20.11
今 回 修 正 予 想 (B)	15,100	200	100	△200	△19.13
増 減 額 (B－A)	△270	△400	△420	△410	—
増 減 率 (%)	△1.8	△66.7	△80.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	15,990	896	659	311	30.45

3. 業績予想の修正理由

業績予想の修正理由は、国内外の急激な景気動向の変化による設備投資の低迷が影響し、主に音響・振動計測器事業において、当初予想していた売上高の確保が難しいと判断されることに加え、「1. 特別損失の計上」に記載した事項が発生したためであります。

*上記の予想は現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上